

令和5年度 社会福祉法人 進和学園 事業計画

昨今、世界は厳しい状況に置かれています。新型コロナウイルス感染症は2020年初めより日本でも感染が拡がり4年目となり、ようやく収束の見通しがついたところですが油断は出来ない状況です。また、自然災害、風水害への防災の備えと共に、温暖化対策の環境問題、エネルギー問題も深刻です。さらにロシアの武力によるウクライナ侵攻は世界平和への威嚇であり、世界の秩序を乱し分断を引き起こしています。このような現実には社会不安や物価高騰を招き、進和学園の利用者ご本人の生活、生産活動、運営全般にも直結する問題です。私たちは、心から「世界平和」「ともに生きる」社会の実現を願い、「本人中心」の理念に基づく取組みを推進してまいります。

特に昨年来より障がい福祉を取り巻く状況は、大きな流れの中にあります。国際連合の障害者権利条約の勧告に基づく方向性、当事者目線の障害福祉推進条例に基づく神奈川県の方針、県市の障がい福祉計画の方針など、それぞれの方向性は障害のある方が、自分の望む暮らし、日中活動、仕事等を地域の中で出来ることを目指すことで一致しています。しかし、その実現に向けてはハード面、ソフト面、予算措置等の課題があることと、地域社会の障がい福祉に対する理解の醸成が必要です。よって、それを実現するためには利用者ご本人のライフサイクルにおいて必要な時期に、必要な支援を受けられるようなセーフティーネット体制のサービスを整備し、ご本人の意思決定支援のもと、選び直しが出来る循環型サービスを地域の中で構築することが基本と考えます。今後は利用者ご本人の高齢化、重度化が進むと思われます。その対応のために入所施設・グループホーム並びに日中活動支援事業所のサービス体系のさらなる推進を図ります。特に相談機能の強化を図り、入所施設は引き続き短期入所等の機能を充実して地域生活支援拠点を担い、グループホームは支援体制の多様化を図ります。権利擁護、虐待防止については、人権・虐待防止委員会を中心に各施設で引き続き取り組んでまいります。

保育園部門は、いずみ・富士見・しらゆりの3園と、地域子育て支援拠点事業「どれみ」が連携を図り、地域の期待に応えるべく子育て支援の充実に努めてまいります。

放課後等デイサービス部門と学童保育部門については市行政、学校と連携するとともに、法人各部門と協力して放課後、長期休み期間の保育の推進に努めてまいります。また地域の子どもたちの表面化しない課題（生活困窮、ヤングケアラー、虐待等）の発見、解決に向けて相談機能を駆使してアウトリーチで推進します。

福祉人材の確保、定着、育成については、社会的にも大きな課題となっております。障がい、保育、学童の各部門で連携して進めるとともに、法制度の処遇改善加算等を活用し、福祉の仕事が「やりがいのある魅力ある職場」であるという発信に努め推進してまいります。

進和学園は地域・社会に支えられ65年目を迎えます。本年度も「本人中心」の理念を徹底尊重し、利用者ご本人、子どもたちの幸せとご家族の安心のために職員一丸となって取り組むと共に、地域の社会資源として「福祉のまちづくり」「防災」についても貢献できるよう努めてまいります。

《重点的に取り組む課題》

1 柔軟的な法人運営を図るための役員・評議員体制について

役員及び評議員の定数は、定款上確定数としていますが、国が示すモデル定款に則り定数に幅を持たせる定款変更を令和5年度中に行うことで、任期途中の退任等が生じた場合も引続き円滑に法人運営を行う体制をつくりまします。

2 進和学園の中長期計画の作成について

①利用者ご本人のライフサイクルを支える安心の循環型サービスを、法人内ネットワークで構築し、関係専門機関等との連携をもって推進する中長期計画を作成します。

- ②地域生活拠点事業の核となる平塚市基幹相談支援センター設置について、知的障がい部門の委託相談事業所として機能してきた「サンシティひらつか」が関係機関と共に協力体制で臨みます。
- ③万田・高根地区の総合的な再整備について、土砂災害警戒区域で急傾斜地の下にある「しんわやえくぼ」の安全対策、進和やましろホーム（築 37 年）及び進和あさひホーム（築 32 年）の老朽化対策をふまえた万田地区・高根地区の総合整備を、国県市の障がい福祉計画の動向を見て慎重に進めてまいります。

3 福祉人材の確保・定着・育成について

人材確保については、年々厳しさを増しており運営を左右する深刻な問題となっております。新卒採用については、採用人事サポートチームを中心にわかりやすい求人情報の発信、魅力の伝わる面接、勤務開始までのフォロー体制に注力します。さらに採用人事サポートチームによる入職後のフォロー体制も確立します。不足する保育人材は障がい部門と保育部門が連携・情報共有し、養成校への学校訪問や実習生受入れ、インターンシップ制度の活用など積極的に推進していきます。人材育成については、職員養成委員会、人材育成・人事考課制度委員会、人権・虐待防止委員会等が中心になり、階層的な研修体制を推進し更なる充実に努めてまいります。

4 地域の困りごとの発見、解決に向けた相談体制と公益的な取組について

- ①放課後等デイサービス部門と学童保育部門が中心となり取組む平塚市支援対象児童等見守り強化事業（居場所型）「こどもスペース∞（無限大）」と、しんわルネッサンスが認定された生活困窮者自立支援法で規定される「認定就労訓練事業」を通して、地域の隠れた課題、困りごとの発見、相談、解決に取り組めます。人々が生活を送る中で直面する困難、生きづらさは多様化、複雑化しています。市町村全体の支援機関、地域の関係者が受け止め、つながり続ける支援体制が必要となっていますので、進和学園としても社会福祉法人の使命として取り組んでまいります。
- ②公益的な取組については、在宅障がい者に対する食事提供(実費)・生活支援、平塚市民の花なでしこの苗栽培と無料配布、湘南平あじさい管理、地域子どもたちの陶芸体験教室、地域ふれあい交流事業、環境緑化・環境教育、地域防災への協力、まちの活性化イベントへの協力等に取り組んでいきます。

5 新型コロナウイルス感染症の対策について

新型コロナウイルス感染症の対応につきましては、令和 5 年 5 月 8 日より第 2 類から第 5 類に変更することを政府が決めました。医療機関・高齢者福祉施設につきましては、重度化リスクがあるため慎重な対応が必要とされます。高齢・基礎疾患を持っている利用者ご本人が多い状況から、日頃の対策に加え、嘱託医、保健所等関係機関と連携して感染対策を引き続き徹底してまいります。

《重点目標 管理運営面》

1 人材育成の推進について

人材育成・定着は人材育成・人事考課制度委員会が階層別研修と各施設でのスーパーバイザー方式を推し進めます。またキャリアアップ研修、国家資格取得奨励、職員ガイドラインの見直しを職員養成委員会でおこないます。さらに職員の資質向上に資するための外部研修等の参加を職員の希望もくみ取って推進します。人権・虐待防止委員会及び職員養成委員会協調による人権擁護に係る研修も、引き続き推進してまいります。

2 人事考課制度の確立について

人事考課制度は職務遂行・貢献度に応じた自己評価・施設評価・法人評価を給与面・昇給等に

反映して 7 年目になります。階層、職域に応じた評価軸の設定や、管理職が一時考課及び二次考課を担当することも 5 年目となります。今後とも各職員の意見を聞き入れ人材育成・人事考課制度委員会を中心に時代に即した内容の検討を推進してまいります。

3 運営システムや IT の活用等について

コロナ禍で経験した会議・打合せ・研修会等のオンライン化は移動時間の短縮や人材不足解消に効果をもたらすとともに一定程度定着することができました。さらに遠隔からの会議参加等、限定的なテレワークを視野に入れ推進していきます。また HP・IT 推進委員会を中心に個々のスキルアップにも注力し、紙からデータへデジタル化は SDGs、節約にも一役買うことから継続した推進をしていきます。

《重点目標 施設運営面》

1 保育園部門の運営について

少子化に歯止めがきかない状況に国は「異次元の少子化対策」とのスローガンを掲げました。具体的にどの様な政策が打ち出されるのか。特に平塚市に関しては、保育現場からの意見を積極的に伝え、効果ある内容となるようにしていかななくてはならないと考えます。

そして、ここ数年続いた新型コロナウイルス感染症の感染予防対策も緩和されコロナ前の日常へ戻していくこととなります。しかし、感染予防対策が十分に出来ない子ども達が利用する保育所としては、まだまだ安心出来ない状況にその都度対応していきます。そして、昨年より保育参加や保育懇談会を再開し、保護者との情報の共有及び保育内容の理解を深めてきました。保育活動については、引き続き保育園内外での活動をより充実出来る様に、各園と情報の共有を図ると共に、保育の質を高められるように取り組みます。

2 放課後等デイサービスの推進について

「ビーライトしんわ」と「しんわブライト」の 2 事業所で放課後等デイサービス事業を運営します。他事業所での受け入れがむずかしい重度の障がいを持つ中高生を対象とした放課後支援と、近年社会的な認知がますます浸透し支援ニーズが増加の一途を辿る発達障がい児を対象としたグループ活動による進和学園独自の総合的発達支援プログラムを提供することで地域に貢献します。

2012 年には 9 ヲ所であった市内の放課後等デイサービス事業所は年々増加し続け現在は 34 ヲ所まできています。今後も新たな事業所の開設が予定されており、地域の事業環境は大きく変化しています。この変化の中で競争力を高め差別化をはかるために地域の支援ニーズの把握に努め、法人の経営資源を存分に活用した特色のあるトータルパッケージとしてのサービス支援の設計、放課後支援の対象年齢層拡大の検討、提供するサービス支援内容に関するわかりやすく訴求性の高い情報発信の強化などに積極的に取り組み、専門性の高い知識と支援技術のさらなる向上をはかります。

3 学童保育の推進について

令和 2 年度から「勝原学童保育会」、令和 3 年度から「旭学童保育会」の運営を保護者会から引継いでいます。令和 5 年度の学童保育の支援単位は勝原 2 単位、旭 2 単位の合計 4 単位となり、場所も 4 か所になります。就学児童数は減少していますが、学童保育を利用する児童は増加の一途で、旭学童はすでにいっぱい状況です。児童の増加に合わせて職員の確保、特に有資格者の確保が必要になっています。進和学園の人材、プログラム、機能等で総合的に学童保育の運営をバックアップしていきます。この機会を捉えて、子どもたちが福祉のふれあいを通して、多様な価値観を認め合い尊重する「ともに生きる社会」の醸成を目指してまいります。

4 意思決定支援について

令和 3 年度・令和 4 年度と 2 か年に渡り実施してまいりました「障害者支援施設等意思決定支援モデル事業」は終了となりますが、意思決定支援の取り組みは継続してまいります。

令和 5 年度の神奈川県の方針としまして、県内の障害者支援施設（82 施設）すべてに展開予定です。

進和学園としまして、「意思決定支援プロジェクトチーム」を設置しており、障害者支援施設（3 施設）を中心に通所施設においても意思決定支援の推進に努めてまいります。

5 進和やましろホームの再整備について

進和やましろホームは開設から 37 年目となります。高齢化、身体的重度化の対策として令和 2 年度にエレベーターを増築しました。今後の身体的変化に伴う住環境の改善を図るために個室化、ユニット化の整備が望まれます。また通所生活介護事業利用者ご本人のご家族の高齢化が顕著になっており、ご家庭でご本人を支えていく限界が近づいています。国の方針で入所施設定員は増やせない状況ですので、自閉的傾向の強い方や強度行動障害がある方にとっても住みやすいグループホームを設置する必要があります。また入所施設の住環境整備の充実と並行して、地域移行や通所利用者の親亡き後の生活を想定し万田地区一戸建て住宅を活用した生活体験を行いながら、グループホームと連携した体験利用を経験してもらい、利用者ご本人がどこで生活をしたいのかを選択できるように推進してまいります。

6 多様なニーズに対応するグループホームについて

神奈川県単独補助事業として、国のグループホームの前身である通勤ホーム制度が昭和 53 年に創設されて以来、進和学園は取り組んできました。当初は一般就労が可能な中軽度の利用者ご本人が主な対象者でありましたが、現在は障がいの重い方、高齢の方などもグループホームを利用するケースが増えてきております。理由は様々で、入所施設の定員枠が空かないため、少人数の暮らしを希望しているため、自立生活を体験するため、などがあります。よって多様化するニーズに対応できるようなグループホームが必要となります。休日・夜間体制の人員配置強化、身体的介護、健康管理、栄養管理の強化が求められます。グループホームの 11 か所の共同生活住居については、ご本人のニーズに合わせて住居ごとに特色のある支援体制を整備してまいります。特に入所、在宅からの体験利用を促進する体験型グループホームの必要性もあります。法人で取得した万田地区一戸建て住宅を体験型グループホームとして検討してまいります。

7 生産事業推進体系の再編に向けて

サンメッセしんわの製パン作業で課題となっています販路拡大による増産体制につきましては新たにしんわルネッサンス内に製パン作業室を整備する計画を 12 月 15 日の法人理事会にて承認をいただきました。このたび日本財団 2023 年度通常募集事業の助成金の決定を受け令和 6 年 4 月の開始を目指して事業計画を推進してまいります。

8 相談支援事業について

サンシティの相談支援事業では、行政機関より委託を受けて実施している相談業務において年々発達障がいや家族支援が必要な場合等難しいケースが増えています。特に 8050 問題にて介護事業所や市役所と連携しての引きこもりのケースが目立ってきました。一般相談およびサービス等利用計画作成のもと相談支援を行ってまいります。ビーライトしんわは障がい児相談事業に取り組み、その業務の充実には専門資格取得が欠かせないため、引き続き中堅職員を中心に外部研修を計画的に推進します。平塚市の相談窓口は 3 障がい（身体・知的・精神）で分担し、サンシティは知的部門を担っています。今後の基幹相談支援センター、地域生活支援拠点等の整備については平塚市自立支援協議会等の関係機関と共に望ましい形を提案してまいります。また神奈川県が推進する意思決定支援を行う各施設の要請に相談として参加、協力、推進してまいります。

サンシティにおける就労援助部門では、湘南西部圏域（平塚、伊勢原、秦野、大磯、二宮）の広域事業であり、地域の就労支援の中核として活動を行っています。登録者が年々増え続けており現在約 800 人と非常に多くの方から必要とされています。新規就労や就労した後の定着支援のニーズが非常に高まっており、特に精神障がい、発達障がいのある方の相談が非常に増えています。各関係機関（企業、労働行政、福祉サービス、教育）との連携の上、地域の障がい者就労支援の基幹としての役割を担い、障害者雇用促進を図り、多くの方々の支援に努めます。

9 生活体系の推進について

- ①高齢化、重度化に対し、健康管理に最大限配慮するとともに、医療機関と連携して各種検査をおこない、早期発見、早期治療に努めます。特に今年度につきましては、障害者支援施設等における感染症に関する業務継続計画(BCP)の策定をおこなうとともに、引き続き感染症予防に努めてまいります。また、一人ひとりに個別的な支援が必要なため、介助技術等の向上を引き続き図ってまいります。
- ②地域生活支援の拠点機能の推進として、在宅の方、グループホーム、単身生活者等を支えるため、各入所施設を中心に、緊急受入の短期入所、日中一時支援、災害時の防災拠点、相談機能、専門性推進等の機能を強化してまいります。他の法人、福祉関係団体等との連携も強化し「防災」「人権」「福祉教育」に取り組んでまいります。

10 作業体系について

- ①ホンダ車部品組立作業は、本田技研工業様のご支援のもと発注を頂いて 49 年目になります。次世代の自動車開発が激化する中、半導体不足、コロナ禍の状況もあり生産調整による受注は減少傾向にありますが、このたび特段の対応でコストの見直しをしていただきました。(株)研進との協同で継続して受注確保に努めます。「顧客満足」「不具合ゼロ」の実現を目指して ISO9001：2015 年版を推進してまいります。
- ②作業の確保、時代の変化に対応するため多角化を目指してまいります。令和 5 年度より高村住宅管理組合様との清掃業務の委託契約も始まります。自動車部品組立作業以外の作業収入もコロナ禍前の状況に少しずつですが戻ってきていることを踏まえ、売上目標を 1 億 9 千万円とします。
- ③サンメッセ製パン事業は学校給食や各種イベント等へも積極的に出店、市場等への拡大を図ります。食品衛生法の改正に伴い HACCP の考えを取り入れた衛生管理で原材料の受入れから製品の出荷に至る工程の管理を徹底してまいります。販路拡大を目指した新製パン事業に向け準備をおこないます。
- ④ルネッサンスの農産品加工事業は 10 年目を迎えました。HACCP における品質・衛生管理基準に基づき作業を実施していく中で、受託加工依頼の件数は年々増加している状況にあります。本年度は、各ジュースのキャップをスクリーキャップへ変更して行くとともに金属検出機の導入と大きな変化点となります。品質面における管理強化を図り、引き続き 6 次産業化ネットワークの活動を継続し、安全衛生管理を徹底、売上向上と工賃確保に努めてまいります。
- ⑤公共事業との取り組みの中でサンメッセが平塚商工会議所の逸品研究会等へ参加、市内商工関係者と連携のもと製品開発、販路拡大、イベント参加に努めてまいります。サンメッセの「湘南みかんぱん」と、ルネッサンスの「トマトジュース」は、平塚市ふるさと納税返礼ギフトに登録され第 62 回全国推奨観光審査会においても推奨品に認定されました。食品加工の取り組みで応募したノウフクアワード 2021 ではチャレンジ賞を受賞しています。また「パンのフェス 2023 春」において新商品「ハッピー餃子ぱん」が、ぱんてな賞とシルバー賞のダブル受賞となりました。「湘南みかんぱん」、「トマトジュース」は令和 5 年 4 月より令和 10 年 3 月までの期間、再び湘南ひらつか名産品として認定されました。
- ⑥施設外就労は継続して、地元しまむらストア様のバックヤード作業と環境整備等の作業請負、平

塚市からの受託している高麗山公園清掃、(株)ゴバイミドリ様(いのちの森づくり作業請負)については継続して取り組んでまいります。

- ⑦在宅就業支援制度の在宅就業障害者特例調整金の活用はしまむらストア様、(株)研進を窓口として本田技研工業(株)様が対象となります。今後も多角化に向け制度の活用と周知を図り、受注拡大に努めてまいります。
- ⑧いのちの森づくりは(株)研進と協同で、学校の森づくりをはじめ、湘南国際村、NEXCO 主催による高尾・小仏植樹祭に参加します。引き続き浜松植樹プロジェクト、豊島区には苗木を出荷します。令和 5 年度の計画は植樹、出荷で 40,000 本を目指します。また他法人施設との連携（どんぐりブラザーズ）にも努めます。
- ⑨ルネッサンスは湘南西地区及び平塚市の共同受注窓口として、地域の福祉事業所とのネットワークの構築、受注作業のマッチング機能を推進します。優先調達等の受注量も増加傾向にあり更なる協力体制の推進に努めてまいります。
- ⑩「ともしびショップ湘南平」は、障がいのある方の就労と社会参加の場としての役割を推進し多様な社会資源の活用を図ります。「サンメッセしんわ」と一体的に運営して 6 年目を迎えます。1 階の喫茶部門は「湘南リトルツリー」としてホットケーキをはじめ、進和学園内の自主生産品を食材として活用するメニューを揃えています。販売部門は陶芸品や工芸品をはじめ楽しいアート商品を揃えています。2 階は展示販売の他、活動スペースエリアとして家族会ボランティアの工房として、また各種イベント、レンタルスペースとしても幅広く活用していきます。地域交流の拠点として、安心・安全な運営に努めます。
- ⑪平塚市役所の 1 階東側多目的スペースにおける福祉ショップ「ありがとう」は本年 7 月で丸 9 年を迎えます。運営は平塚市内福祉関係団体がひとつになり組織した「ひらつか福祉ショップ運営協議会」が主体となり、平塚市の協力のもと本年も進和学園が、その事務局を担当します。平塚市観光協会にも入会し運営の理解促進と販売促進に努めてまいります。また生産事業推進会議パフォーマンズ部会の FM 湘南ナパサ 78.3MHz のラジオ番組(ナパサクラブ制作)「バリア!フリフリ天国」(毎週月曜 20:00~20:30)に利用者ご本人が中心に参画しておいます。FM湘南ナパサ局も番組への協力、理解を示していただいています。本年も福祉現場からの情報発信、福祉啓発に努めてまいります。

令和 5 年 3 月 23 日
社会福祉法人 進和学園